

第75号

平成24年1月1日



# 南知多のふくし

迎春

編集・発行 / 社会福祉法人 南知多町社会福祉協議会 南知多町大字豊浜字須佐ヶ丘1番地 ☎0569-65-2687



点筆での点字打ち。思わず力が入ります



外国人講師も熱心に指導してくださいました



デモンストレーションにも率先して参加してくれます

学校の先生方のご協力、またそれぞれの障がいをもつ講師の皆さまの熱意で、本年度も南知多町内のすべての小中学校で福祉実践教室を行いました。各教室では、児童、生徒の純粋な心と講師の熱い思いが融合し、とても有意義な授業となっています。相手を思いやる気持ちを育み、相手の立場になって考えられ、お互いの違いを認め合うことが自然とできる。そんなきっかけにもなれば幸いです。

(P3へ関連記事)

## 目次

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| P1 福祉実践教室概要          | P5 講座案内 傾聴ボランティア 防災啓発講座 |
| P2 新年のごあいさつ          | P6 東日本大震災関連記事 共同募金のお礼   |
| P3 福祉実践教室の様子①        | P7 共同募金入選作品             |
| P4 福祉実践教室の様子② 介護について | P8 救急情報キット 心配ごと相談所      |



## 新年を迎えて

南知多町社会福祉協議会

会長 内藤 宗充

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、お揃いでよき新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、社会福祉協議会に賜りました数々のご配慮とご協力に、心より厚くお礼申し上げます。

昨年は、東北地方を襲った東日本大震災、台風十二号、十五号による関西・紀伊半島を襲った集中豪雨災害等、大きな自然災害が起こり激震の年でもありました。色々な予防策を施しているにも関わらず大きな災害が発生し、自然の猛威を思い知らされ、私達に環境破壊を戒めようと警鐘鳴らし、年々進化しながら襲って来ていると思わずにはいられません。この災害にて、

尊い生命を無くされました多くの方々のご冥福をお祈りさせて頂きます。又被災された方の一刻も早い復興を祈ります。

さて、昨年十月三十一日に世界人口が七十億人に達したという報道がありました。六十年程前の人口は二十五億人といわれ、実にこの六十年で約三倍の人口となり、この先まだ増加するといわれています。反面日本など先進国は少子高齢化が進み、人口の減少に悩んでいるのが現状です。私達を取り巻く地域の環境も、いち早く少子高齢社会が到来し、鈍化する事なくまだ進行すると予測されています。社会福祉協議会としてもしっかりと現状を認識し、ますます増大・多様化する福祉二一

ズへの対応、質の高い福祉サービスへの提供などについて取組んで行かなければならないと考えます。このような状況の中で福祉人材の養成・確保が不可欠ですが、福祉・介護現場では人材不足傾向が続き、支えきれない部分も出始めて来ています。当面この少子高齢社会に対応して行く為には、身近な地域が力を合わせて、自分達の力で地域福祉を高めて行く考え方が、今後ますます重要になってくるでしょう。

介護保険制度の施行より十二年が経過する中、平成十八年より要支援・要介護が必要な状態にならないために、介護予防に重点を置いたシステムの転換が図られて来ました。生きがい

を持つていきいきとした生活を送るには、出来る範囲内で、自分の健康は自分で守るという意志が大切です。天気の良い日は極力外に出て四季の草花の移り変わりを目で楽しみ、吹く風の変化を肌で感じ取りながら散歩する。効果として体力の活性化が出来、合わせて道中地域の皆さんと会話を交わす事で頭脳の活性化が図られ、一石二鳥の効果が見込めます。

新たなこの一年、町民の皆様方を始め関係諸団体、各事業所の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念し、本会への温かいご理解と多大なご協力をお願い申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。



## 福祉実践教室の様子

### 点字体験



日間賀中学校

目が不自由なのに、お札の見分けができるってホント？  
指先の感覚だけで見ごとに、お札を判別してしまおう講師にみんなびっくり。  
もちろん見えていない訳ではなくお札のかどにある印を指先で触り判別します。  
他にもひとりで行き出かけていくお話や工夫された生活の様子を真剣に聞いていました。

どの学校も科目に関係なく事前学習がしっかりされていて、効率よく授業が行われます。

点字をうつ基本を学んだあと、さっそく自分の名前をうつことにチャレンジ。講師に読んでいただき、正しく伝わった時の児童のうれしそうな笑顔がとても印象的でした。

ネームテープに学校名や名前をうち、お土産としていただきました。お家の方に見せてあげるそうです。



内海小学校

### 車いす体験



篠島小学校

車いすの介助は簡単？そうで難しい。段差の乗り越えとぬかるんだ地面を想定したマットレス越えに挑戦です。  
低い段差でも介助がないと乗り越えは難しい。マットレス上では、悪戦苦闘。力任せに介助しても車いすをうまく動かすことができません。介助する側のポイントを学び、車いすに乗っている人の怖さを体験できました。

講師の指導により、自走式の車いす(乗っている人が自分で操作することが出来る車いす)を自分で動かしてみました。

思ったように動かないこともありましたが、徐々に慣れてきて、狭い間もすりりと抜けることができました。講師もびっくりです。小学生(四年生)の適応能力の高さには、驚かされます。

「腕が疲れた」「少しの段差でも越えるのが大変」「車いすに乗ったままの生活は難しい」など素直な感想が聞かれました。



大井小学校

### 手話体験



師崎小学校

これでいいのかなあ？聴覚障がいの方との大事なコミュニケーション、手話表現を学んでいます。細かな指の向きの違いに戸惑いながらも一生懸命。伝わりますよ！  
手話通訳の方々が、政府会見などの公式会見場で活躍されている様子をよく見られるようになりました。

遊んでいるのでは、ありません。伝えたいことを身振り(ジェスチャー)で表現しています。手話がわからなくても、工夫次第で伝えることができることを学びました。恥ずかしがらず、伝えたいことを体で表現します。

この場面も内容は講師に十分伝わりました。

紙や空間に書いてりしても伝えることができます。「伝えよう」という強い気持ちが大切です。



内海中学校





ガイドヘルプの基  
本を学び、さあ実践  
です。二人でペアを  
組み、アイマスクを  
したガイドされる側  
とガイドする側の両  
方を体験します。  
先生にも参加して  
いただき、校内に設  
定されたコースをガ  
イドします。コース  
は、階段あり、狭く  
なった通路あり、障  
害物ありと日常生活  
の様々な場面を想定  
したコースとなって  
います。

階段をガイドして  
いる様子です。階段  
は一歩間違えば転落  
などの危険がありま  
す。教えていただい  
たことを思い出し、  
細心の注意をはらっ  
てガイドします。段  
の最初と最後はいつ  
たん止まって「階段  
です。今から上がり  
ます」とか「最後の  
段です」といった声  
掛けをし、ガイドさ  
れる方の不安をなく  
します。目が不自由  
なことの大変さがよ  
くわかったとの感想  
がありました。



このほかにも、自閉症疑似体験、OHP 要約筆記、高齢者疑似  
体験などの科目があり、1月以降も各学校で開催されます。

## 介護でお困りのときは……社会福祉協議会へご連絡ください

### ◎車いす短期貸出事業を行っています

社会福祉協議会では、車いすを必要とされる方  
に短期間無料で貸し出しを行っています。

けがや急な病気等で病院へ行く時、旅行や用  
事を済ませるための外出時だけの利用ほか一時  
的な使用をしたい方へご利用いただいています。

台数に限り等がございますので、電話にてご  
確認のうえ、ご来所ください。



### ◎介護保険等のサービス利用については……

ヘルパーさんの訪問、ベッドや車いすのレンタル、手すりの取付け等の住宅改修、  
デイサービスやショートステイの利用等、ご家族の介護のことでお困りの時は、  
以下の事業所にお気軽にご相談ください。

◎ 南知多町社協指定居宅介護支援事業所

◎ 南知多町社協ヘルパーステーション

電話 65-2687



## 平成23年度 傾聴ボランティア養成講座

人が自分の話に耳を傾けて聴いてくれる。ただそれだけで寂しさや悩みが軽くなることはありませんか？ ひとり暮らしや施設で暮らす高齢者、障がい者の中には話し相手が少ない、または外に出て人と話すことが難しいという方々がいます。

この講座はそんな方々のニーズに応える（お話し相手＝）傾聴ボランティアになるための基本的知識と技術を身に付けます。

日程：平成24年2月 1日(水) 午後2時～4時

2月15日(水) 午後2時～4時

3月 7日(水) 午後2時～4時

※施設体験実習：2/16～3/6 までの間に1回

会場：南知多町JA会館2階

対象：全講座及び体験実習を受講可能で、傾聴ボランティア活動に関心のある方

定員：20名 参加費：500円

講師：榊原 芳子氏（NPO法人コアカウンセリング支援協会  
カウンセラー・インストラクター）

南知多町・南知多町社会福祉協議会共催

### 「防災キャラバン隊」と学ぼう!!

防災倉庫等に入っているパールやジャッキ、万能オノ・・・  
いざという時、あなたは使えますか？

愛知県防災局職員と「愛知県自主防災キャラバン隊」の皆さんを講師にお迎えし、災害救助用資機材を使用した救助方法の実演や実習など、いざという時に役立つ知識を学びます。

■日時：平成24年2月25日(土) 午後2時30分～4時30分(受付2時～)

■場所：南知多町総合体育館2階

■参加費：無料 ■定員：40名

■内容 ①. 災害関連の講義 ②. 災害対策用資機材の紹介、取扱方法の実演と実習  
③. 家具転倒防止金具サンプルの展示、取り付け方法の実演と実習及び検証  
④. 災害用非常食の紹介及び試食

※当日、防災に関するアンケートにお答えいただくと防災グッズを差しあげます。

申込み・お問い合わせ：1月4日(水)～1月20日(金)

南知多町社会福祉協議会

Tel 0569-65-2687 Fax 65-2913

mail：nanchi@tac-net.ne.jp



Never forget 3.11 ～風化させてはいけない～

## 東日本大震災義援金募集の継続

昨年3月11日の東日本大震災からもうすぐ10ヶ月が過ぎようとしていますが、報道等でもおわかりのように現地の瓦礫は、まだまだ残り、復興のスピードは決して早くはありません。

被災者の方々が、一日でも早く元の生活に戻れるよう、また明日への希望を持ち続けられるように、皆さまの温かい支援の継続をお願いいたします。



募金状況	東日本大震災義援金	405,874円	
	被災地のボランティア活動支援募金	15,490円	H23.12.14 現在

現地でのボランティア活動を希望される方、また支援物資を届けたいとお考えの方は、あらかじめホームページや電話等にて状況を確認のうえ、現地災害ボランティアセンター、復興ボランティアセンターと連絡をとって行動されることをお勧めします。

(必要なボランティア、物資についての情報が得られます)



まだまだ残る瓦礫の撤去 / 岩手県大船渡市



寒さ対策にと届けられたカイロ / 岩手県大船渡市



赤い羽根  
共同募金

## 赤い羽根共同募金に ご協力ありがとうございました

10月1日▶12月31日

10月1日より全国一斉に始まりました赤い羽根共同募金運動は12月31日をもちまして今年度の募金期間を終了いたしました。ご協力くださった多くの皆様に厚くお礼申し上げます。

募金総額は次号にて報告させていただきます。



南知多町共同募金委員会



内海高校の生徒代表より

# 赤い羽根協賛 児童生徒作品コンクール入賞作品



赤い羽根児童作品コンクールを通じて、児童生徒皆さんの社会福祉に対する理解をより一層深め、たすけあいの心を育成するために、毎年南知多町内の小中学校生を対象に作品の募集をしています。今年度はポスター178点・書道448点の応募をいただきありがとうございました。その中から審査をしました結果次の17点が入賞作品として選ばれました。おめでとうございます。(敬称略)

## ポスターの部 8点



県入選  
大井小2年 岡田えりな



県入選  
師崎小6年 杉本彰太



県入選  
師崎中2年 星場菜月



町入選  
大井小1年 岩瀬純菜



町入選  
日間賀小3年 鈴木百葉



町入選  
師崎中1年 荒井咲穂



町入選  
豊浜中2年 石垣稀大



町入選  
師崎中2年 山下うたの

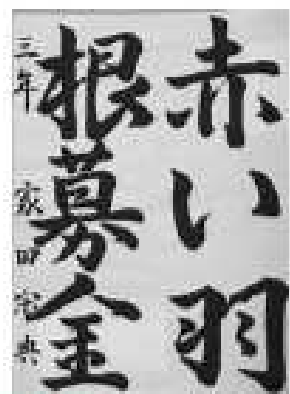
## 書道の部 9点



県入選  
大井小4年 磯部合里



県入選  
師崎中1年 山下菜摘



県入選  
豊浜中3年 家田宗典



町入選  
日間賀小4年 坂口真弓



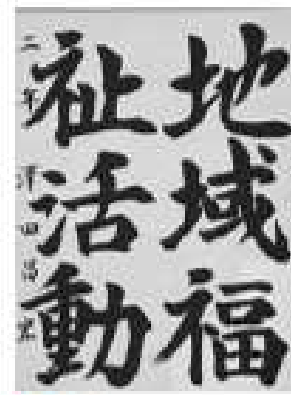
町入選  
師崎小5年 山下真凛



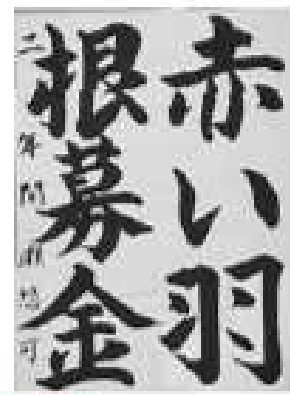
町入選  
大井小6年 鈴木智景



町入選  
後島小6年 吉戸 馨



町入選  
師崎中2年 澤田昌宏



町入選  
師崎中2年 間瀬悠可



## 海苔の空容器を集めています



社会福祉協議会では、海苔の空容器（左写真）を利用した「救急情報キット」の普及を計画しています。

ご家庭で使用済みの海苔の空容器がありましたら、お手数ですが、ラベルと中の乾燥剤をお取りいただき洗浄後、直接、社会福祉協議会へお持ちいただくか、数がそろえば取りに伺います。ご協力のほど、よろしくお願いします。

「救急情報キット」とは、ひとり暮らしの方や昼間独居の高齢者の方が、自分の氏名、年齢、緊急連絡先、かかりつけ医、持病や服薬内容などの情報を入れた海苔等の空容器を冷蔵庫に保管しておくことで、緊急時に活かすものです。例えば、病気や怪我で倒れた場合、救急隊員や第一発見者などが、冷蔵庫の中から容器を取り出し、中の情報を見ることで、身元や日頃の身体の状態などがすぐにわかり、迅速、的確に救護ができ、身内など関係者にもすぐに連絡できます。また、搬送先の医療機関でも、医療行為の参考や家族等との連絡に役立てることができるのです。

## 心配ごと相談所のご案内

月 日	会 場
1月13日(金)	師崎公民館
1月24日(火)	南知多町公民館(豊浜)
2月14日(火)	町公民館 内海分館 (内海サービスセンター内)
2月24日(金)	師崎公民館
3月13日(火)	南知多町公民館(豊浜)
3月27日(火)	町公民館 内海分館 (内海サービスセンター内)

◎開設時間は午後2時から4時までです。

### ◎相談は無料、秘密厳守です！ お気軽にご相談ください

※相談にはご要望により弁護士、民生委員、人権擁護委員、行政相談員が応じます。  
(要予約：先着4名まで)

※前日、午後5時までに予約がない場合は、開設いたしませんのでご注意ください。



南知多町社会福祉協議会 (電話 65-2687)